

令和6年度 保育室ひかり 自己評価

保育所保育指針において、保育士及び保育所の自己評価並びにその公表が努力義務とされています。

このことを踏まえて保育室ひかりでは、保育の質の向上を図るために保育所の自己評価を実施しました。

評価の結果を踏まえて今後もより良い保育を提供できるように努力していきます。

*評価について

評価をするにあたっては、以下の基準で行いました。

- A・・・十分わかる 十分できている
- B・・・おおむねわかる おおむねできている
- C・・・あまりわからない やや不十分
- D・・・ほとんどわからない 改善を要する

*園全体の評価

自己評価をもとに、職員間で話し合いを重ね、保育の内容の見直しを行い、お子さんにとって負担に感じないような行事（親子で運動遊びの会、お楽しみ会）を計画、実施した。また、日々の保育の内容を毎月のクラス会議で振り返り、月の評価・反省を、回覧で職員全員で情報共有することで、安定した保育環境が整えられるような配慮を行った。

今後は、日ごろの保育の個別の課題について、全体で研究し深める時間を今以上に確保できるように業務内容についても精査をしていきたい。

1.保育理念

	評価内容	評価項目ごとの 評価結果	具体的な取組及び考察
1	保育方針、保育姿勢をもとに日々保育を行っていますか。	A	
2	保育目標にそった計画を立案していますか。またはねらいにそって保育をしていますか。	A	保育所保育指針に基づき、保育過程、年間保育計画、月案、週案を作成している
3	全体行事をきっかけにつながりある保育を実践していますか。	A	・年度前に会議を行い、来年度の行事の見直しをすることで、日々の中で無理なく行事に向けた導入ができるようにしている。
4	子どもからのサインを見逃さず子どもの求めている援助ができましたか。	A	
5	子ども一人ひとりのありのままを受け入れ肯定的に言葉がけをしていますか。	A	
6	人権に十分配慮するとともに文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てるように配慮していますか	A	
7	子どもたちの中に人を信頼する気持ちが育つような関わりをしていますか。	A	
8	適切でない対応をしている他の職員の行為を目にした時、助言ができますか。	B	・療育医療センターに相談できるよう窓口を設置している。
9	他の職員や上司からの助言に対して素直に受け止め改善していますか。	A	
10	保護者・職員・地域の方との輪を大切にしていますか。	A	

2.子どもの発達援助援助 ア養護

	評価内容	評価項目ごとの 評価結果	具体的な取組及び考察
1	あなたは子どもが安心して自分をゆだねられる存在となっていますか。	A	
2	★そのためにはどのような配慮をしていますか。	・ 相手を認める言葉掛け、話しやすいゆったりとした環境作りを心掛けている。 ・ 子どもの仕草や表情からも気持ちを汲み取り、優しく声をかけて関わる。	
3	保育の主役は子どもであることを常に心に留めていますか。	A	
4	子どもの要求をその都度受け止めて対応していますか。	B	・ 出来ない事もあるが出来るだけ受け止め、できない時は別の選択や納得できるように話をしている。
5	子どもにわかりやすい言葉づかいで穏やかに話をしていますか。	A	
6	登園時に泣く子どもに対して、放っておいたり叱ったりするのではなく、子どもの状況に応じて抱いたり優しく声をかけたりしていますか。	A	
7	自分の気持ちをうまく表現できない子どもの心情を汲み取ろうとしていますか。	A	
8	子ども一人ひとりの発達状況と子どものおかれている事情を理解し保育を行っていますか。	A	
9	命を預かる責任を持ち安全に過ごせるよう子ども一人ひとりを把握していますか。	A	
10	事故やケガ、体調の急変に対して適切な対応ができますか。	A	・ 毎月、救急対応訓練を実施し、適切な対処方法の見直しを行っている。

2.子どもの発達援助援助 イ健康

	評価内容	評価項目ごとの 評価結果	具体的な取組及び考察
1	子どもの生活を24時間の連続したサイクルでとらえ、一日の生活がリズム良く、また無理なく過ごせるように配慮していますか。	A	• 個々の様子に応じて午前中や夕方に仮眠をとったり、睡眠時間の調整をしている。
2	子どもがのびのびと体を動かせるよう、時間、場所、遊びを毎日確保していますか。（自由時間）	A	
3	外遊びや散歩など戸外で遊ぶ機会を多く取り入れていますか。	A	• 天候に応じて、積極的に外気浴や戸外活動を行っている。
4	保育士自身が積極的に子どもと関わり遊んでいますか。	A	
5	お漏らしをした時、優しく対応し子どもの心を傷つけないよう配慮していますか。	A	
6	午睡時には子守唄を歌ったり、背中を軽くたたくなどして安心して心地よい眠りにつけるよう配慮していますか。	A	
7	衣服の着脱の際、せかしたり、着せてしまったりしないで自分でやろうとする子どもの気持ちを大切にしていますか。	A	
8	午睡時に眠くない子どもへの配慮をしていますか。	A	• 絵本を一緒にみたり、静かに遊んで過ごせるような関わりをしている。
9	★なかなか眠らなかったり早く目覚めたときにはどうしていますか。	• 静かに過ごせるような玩具を提供する。 • 絵本時間などをつくる。	
10	子どもの病気やアレルギーについて必ず確認し対応していますか。	A	• アレルギー児には誤食が起きないように、食器の色を変えたり、声かけの徹底を行っている。

2.子どもの発達援助 ウ食事

	評価内容	評価項目ごとの 評価結果	具体的な取組及び考察
1	食事の前の手洗いをするなど清潔習慣が身につくよう援助していますか。また自分も必ずしていますか。	A	
2	子どもが残さず食べることを強制したり、偏食を直そうと叱ったりしていませんか。又はイライラしたりせかしたりしていませんか。	A	
3	子どもが落ち着いて食事を楽しめるよう工夫していますか。	A	
4	時には雰囲気を変えて食べるなどの工夫をしていますか。	A	・行事食を取り入れている。
5	栽培やクッキング活動に子どもたちの興味や関心が深まるよう努力をしていますか。	B	・夏は園庭のプランターで野菜を育てた。 ・療育医療センターで野菜の収穫を行った。
6	子どもが配膳や片付けなどに参加できるよう、または関心が深まるよう配慮していますか。	B	
7	調理するところを見たり給食室職員とのつながりを築けるよう配慮していますか。	A	・おやつやお昼を子ども自ら興味を持ち、「今日のご飯なに」とコミュニケーションをとっている。

2.子どもの発達援助 人間関係

	評価内容	評価項目ごとの 評価結果	具体的な取組及び考察
1	保育士の言動の一つ一つを、子どもはモデルとして学んでいることを知っていますか。	A	
2	子どもをひとつの人格を持った存在として謙虚に接していますか。	A	
3	子どもが保育士や友だちと共に過ごすことを楽しめるよう配慮していますか。	A	
4	つまづきや葛藤、けんかなどの経験が成長に欠かせないものにとらえて適切に対応していますか。それを保護者にも伝えていきますか。	A	
5	異年齢の子どもとの交流が自然に行われていますか。	A	・合同保育を行い、異年齢で関わる機会をつくった。
6	子どもの気持ちを代弁し、相手の気持ちに気づくように援助していますか。	A	
7	自分が大切にされて育ってきたことや愛されている実感をあじわえる機会をつくっていますか。	A	

2.子どもの発達援助 才環境

	評価内容	評価項目ごとの 評価結果	具体的な取組及び考察
1	遊びのスペシャリストになっていますか。	B	
2	★どのように努力していますか。	・他保育士から学んだり、動画で学んだりする。 ・子どもたちがおもしろそう、やってみたいと思うような声掛けや遊びを提供する。	
3	子どもが自然現象の不思議さに 気づけるよう一緒に調べたり考えたりしていますか。	A	・季節感が味わえるような戸外活動を取り入れたり、図鑑を保育室内に置いた。
4	自分の物や友だちの物、共同の物の区別に気づきものを大切にできるようにしていますか。	A	
5	毎日の活動の中で数や量などにふれる機会を意識してつくっていますか。	B	
6	子どもの発達に適した玩具や遊具を用意し好きな遊びができるようにしていますか。	A	・各クラスの発達や興味に合わせて玩具の見直しを行った。
7	設定保育だけでなく子どもが自由に遊べる時間が確保されていますか。	A	・日中の活動の中でも無理に設定保育に参加させることはなく、苦手な活動の時には自由遊びを選択できるようにしている。

2.子どもの発達援助 カ言葉

	評価内容	評価項目ごとの 評価結果	具体的な取組及び考察
1	こどもと心のこもった挨拶を交わしていますか。	A	
2	「ありがとう」「ごめんなさい」などの生活に必要な言葉が自然に使えるように保育していますか。	A	
3	一人ひとりの子どもをよく観察し、その場に適した言葉がけを心がけていますか。	A	・必要以上に声かけをせずに、集中して活動に取り組んでいる時には出来るだけ見守るようにしている。
4	正しい言葉使いや声の大きさに配慮して子どもに話かけていますか。	A	
5	子どもの話を最後までゆっくりと聞くように努めていますか。	A	
6	話し合いの時にはどの子も自分の意見を言えるように配慮していますか。	B	
7	たくさんの言葉にふれ習得できるような工夫をしていますか。	A	
8	話をじっくり聞き、内容を理解することの大切さを子どもに伝えていますか。	A	
9	言葉の楽しさや美しさに子どもが気づけるような読み聞かせ方をしていますか。	A	

2.子どもの発達援助 キ表現

	評価内容	評価項目ごとの 評価結果	具体的な取組及び考察
1	水、砂、土、粘土など自然の素材に触れて楽しむ機会を多く取り入れていますか。	A	
2	音楽に合わせて歌ったり踊ったりして楽しめるよう援助していますか。	A	・ピアノを使用したリズム遊びを積極的に行った。
3	五感を使って気づいたり心地よさを感じたりできる機会を作っていますか。	A	・感触遊びを多く取り入れた。
4	道具の正しい使い方を丁寧に教えたり見守ったりしていますか。	A	
5	素材や用具を子どもが自由に取り出せる場所に置くなど工夫をしていますか。	B	
6	自分のイメージを言葉などで表現したり演じたりして楽しむ機会を設けていますか。	B	
7	★ごっこ遊びを発展させるのに どのようなことをしていますか。	・想像力が膨らむようにスポンジやチェーンで見立て遊びができる環境を整える。	

2.子どもの発達援助 ク乳児保育

	評価内容	評価項目ごとの 評価結果	具体的な取組及び考察
1	授乳は抱いて目を合わせたり微笑みかけたりしながらゆっくりと飲ませていますか。	A	
2	離乳食については、家庭と連携をとりながら一人ひとりの子どもの状況に配慮して行っていますか。	A	
3	おむつ交換時には、優しく声をかけたり、スキンシップを行っていますか。	A	
4	一人ひとりの生活リズムに合わせて睡眠をとることができるように配慮していますか。	A	
5	外気に触れたり戸外遊びを行う機会を設けていますか。	A	・天気の良い日は積極的に戸外に出ることで外気浴の時間を設けている。
6	喃語にはゆったりと優しく応えたりふれあい遊びを行っていますか。	A	
7	たて抱き、腹ばいなど子どもが様々な姿勢がとれるようにしていますか。	A	
8	乳児を寝かせる場合は安全に配慮し呼吸のチェックを行い記録をしていますか。	A	・0歳児は5分おき、1歳児は10分おき、2歳児は15分おきに睡眠チェックを行っている。
9	事故予防に努めた保育を行っていますか。（入室時のドアの鍵施錠、窓から園庭への出入りなど）	A	
10	継続的に同じ保育士と関わりがもてるよう配慮していますか。	A	

2.子どもの発達援助 ケ長時間保育、延長保育

	評価内容	評価項目ごとの 評価結果	具体的な取組及び考察
1	家庭的な雰囲気を感じられるように配慮していますか。	A	
2	好きなことをしてくつろげる空間や遊具を用意していますか。	A	
3	お迎えが遅い子への不安な気持ちを汲んで対応していますか。	A	
4	異年齢の子ども同士が心地よく遊べるように環境を整えていますか。	A	
5	子どもの状況について職員間の引継ぎを適切に行っていますか。	A	・ミーティングノートを活用し、漏れなく伝達し合えるような配慮をしている。
6	勤務時間外の子どもの様子を把握するよう努めていますか。	A	・ミーティングノートを活用し、子どもの園での様子を家庭での様子を周知している。

3.保護者に対する支援 ア子どもの成長の喜びを共有

	評価内容	評価項目ごとの 評価結果	具体的な取組及び考察
1	子育てのパートナーとして「保護者の子育てを支援する」という役割を常に意識していますか。	A	
2	保護者の子育てに対する不安や悩みを受け止めて適切に助言、援助していますか。	A	・年2回の個人面談と、不安感のある保護者には個別に相談できる時間を設けている。
3	送迎時の身支度の際、さりげなく言葉を交わすなどして話しやすい雰囲気をつくっていますか。	A	
4	子育ての悩みを話し共感したり支え合ったりする保護者同士のつながりに配慮していますか。	B	年1回懇談会を実施し、保護者同士が話をできる機会を設けている。

3.保護者に対する支援 イ保育内容の説明・応答責任、個別支援

	評価内容	評価項目ごとの 評価結果	具体的な取組及び考察
1	保護者の考えや提案を積極的に聞いていますか。	B	
2	保護者からの相談内容などを自分一人の問題にしないで、園長に相談していますか。	A	
3	相談は記録し、継続的な支援をしていますか。	A	・個別面談記録を作成している。
4	連絡帳やホワイトボードなどで日常の子どもの様子を伝えあっていますか。	A	・連絡帳アプリを使用し、写真を添えながら園での様子を保護者に知らせている。
5	保護者の参加行事では事前にその趣旨を説明し、理解や協力を要請していますか。	A	・年度はじめに年間行事計画を配布し、参加の理解を求めている。
6	文化や宗教、習慣を尊重しそれぞれを受け入れ信頼関係が築けるようにしていますか。	A	・文化や宗教、習慣が大きく違う方の入園がなかった。
7	子どもの体調不良などで保護者に連絡する際、細かい配慮をしていますか。	A	・こまめに体調の変化を伝えて、お迎え時間まで安心してもらえるよう配慮をしている。
8	集団生活の中で守らなくてはならないことを保護者にきちんと理解してもらえていますか。	A	・その都度口頭やお便りで知らせるようすることで協力していただいている
9	クラスの取り組みや計画をお便りなどで保護者に伝え共通理解がもてていますか。	A	

3.保護者に対する支援 ウ関係機関との連携・情報提供

	評価内容	評価項目ごとの 評価結果	具体的な取組及び考察
1	他機関と交流保育をしたり情報交換をする機会を利用していますか。	A	・連携施設と2歳児交流や公園交流を行っている。
2	虐待を疑われる子どもの情報を得た時、関係機関に照会、通告を行う義務があることを知っていますか。	A	
3	地域の住民から受けた子育て相談の内容について、連絡・相談すべきところを知っていますか。	A	
4	苦情解決の仕組みを知っていますか。	A	

4.保育を支える組織的基盤 ア健康及び安全の実施体制

	評価内容	評価項目ごとの 評価結果	具体的な取組及び考察
1	子どもの日々の健康状態を把握し保育 していますか。	A	
2	子どもの体調不良やケガなどの 情報 を職員間で共有していますか。	A	・ミーティングノート、怪我記録を 活用している。
3	保育室の換気や温度・湿度に配慮して 保育していますか。	A	・こまめに換気をしつつも、快適な 室温、湿度調節を心がけている。
4	玩具、遊具は消毒したり衛生面に配慮 し、破損の有無を毎日確認しています か。	A	
5	誤飲を防ぐために玩具の大きさに配慮 していますか。	A	
6	園児が使用する玩具や用具を新しくし たり、製作活動で使用する材料など園 長の許可をとってから使用しています か。	A	
7	施設、設備の安全点検を行い、不具合 の箇所は必要な対策をとっています か。	A	・安全点検表に沿って点検を毎日行 い、気になる箇所はすぐに修理や対 策を行っている。
8	子どもが危険な場所や遊びがわかり安 全に気をつけて行動するよう働きかけ ていますか。	A	・戸外活動の際は遊び始める前に子 どもと一緒に遊ぶ箇所や遊び方を 知っている。
9	交通安全の習慣が身につくように日頃 から指導をしていますか。	A	
10	不審者が侵入してきたとき、自分はど のように対応するかわかっています か。	A	・年2回不審者対応訓練を実施して いる。

4.保育を支える組織的基盤 イ保育の計画と保育内容の自己評価

	評価内容	評価項目ごとの 評価結果	具体的な取組及び考察
1	子どもを主体とした視点で保育をしていますか。	A	
2	保育課程や保育計画のねらい・内容を理解して保育をしていますか。	A	
3	保育計画が適切であったか振り返りを行い改善していますか。	B	
4	職員会議などで保育の質の向上につながる発言をしていますか。	B	
5	話し合いの場で他の職員の発言や意見から気づいたり学んだりすることがありましたか。	A	
6	自分の役割の他、フリー、園長、リーダーの役割を理解していますか。	A	
7	自分が目指す保育者像がありますか。	A	
8	自分の保育実践について園長やリーダーと、保育を語る機会を自らつくっていますか。	A	
9	新採用の職員、あるいは後輩に配慮し、あたたかい人間関係をつくるようにしていますか。	A	
10	自らの保育実践を振り返り、明白になげようと努力をしていますか。	A	

4.保育を支える組織的基盤 ウ職員の資質向上

	評価内容	評価項目ごとの 評価結果	具体的な取組及び考察
1	保育に関する専門書を読み、保育に関わる知識や技術の向上に努めていますか。	A	
2	保育関係の情報に日頃から収集するように心がけていますか。	A	
3	園内研修の計画をしたり積極的に保育の質の向上に努めていますか。	B	
4	保育士の人間性を豊かにするために自己研鑽をしていますか。	B	
5	個人情報の管理を適切に行っていますか。	A	
6	あなたは子どもの最善の利益を尊重した保育をしていますか。	A	